

脳神経内科に通院歴のある方のご遺族へ（臨床研究に関する情報）

本院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療後の残余検体と診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学附属病院倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 硬膜アミロイドβ沈着と脳内アミロイドβ沈着の関連性に関する検討

《共同研究の代表機関名・研究代表者》

関西医科大学附属病院・脳神経内科 職名 主任教授 氏名 薬師寺 祐介

《研究の目的》 硬膜へのアミロイドβの沈着と脳内アミロイドβ沈着の関連性について検討します。

《研究期間》 研究機関の長の許可日～2031年3月31日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

2011年12月1日から2030年3月31日の間に病理解剖を受けた方

●研究に用いる試料・情報の種類

情報：臨床所見、血液所見、病理学的所見、画像検査所見、手術関連、併用薬剤、治療内容、剖検組織所見、アポリポ蛋白E多型診断名等

試料：剖検組織（病理学的検索を終えた後、半永久的に保存されているパラフィンブロックおよび凍結組織（脳、脊髄、硬膜）

《試料・情報の利用又は提供を開始する予定日》 2026年8月1日

《外部へのまたは外部からの試料・情報の提供》

特定の関係者以外がアクセスできないように、パスワードが必要な電子クラウド上に匿名化した状態のデータを提供するまたは提供を受けます。個人情報をも復元できる情報は、本院の研究責任者が保管・管理します。

試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名：国立循環器病研究センター 大津 欣也

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：薬師寺 祐介

《研究組織》

[研究責任者]

関西医科大学神経内科学講座

主任教授 薬師寺 祐介

国立循環器病研究センター 脳神経内科 副院長・部長 猪原 匡史

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での検体・診療情報等の取扱い》

お預かりした検体や診療情報等は、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は各研究機関の指針や規程等に基づき各研究機関の所定の委員会等に申請し、その審査と承認を得ています。

* 上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

●研究内容の問い合わせ担当者

研究代表者 関西医科大学附属病院 脳神経内科 氏名 銅山 達哉

〒573-1191 大阪府枚方市新町 2 丁目 3-1

脳神経内科 医局 TEL：072-804-0101（内線：2540）